



公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

平成23年 第1回 市議会定例会 代表質問 第2回 臨時会 代表質疑

安全で安心して暮らせる まちづくりを!

平成23年3月1日の代表質問では、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、川崎市の防災対策、救急医療体制の強化、若者・高齢者の就業支援、子宮頸がん予防ワクチンの接種事業など23項目を取り上げました。また統一地方選挙後に開催された5月23日の代表質疑でも防災対策の強化充実を求めました。



質問に立つ岩崎議員

▶ 携帯電話「エリアメール」今年度から導入へ!

防災行政無線、デジタル方式による再整備へ



石巻の現状

代表質問では、正確な災害情報を速やかに伝えるため、全国に一斉に配信する「全国瞬時警報システム」の導入と、緊急速報「エリアメール」の活用について質問しました。その結果①「全国瞬時警報システム」の受診テストを開始する。②野外スピーカーなどの防災無線については聞こえやすいデジタル方式に再整備する。ことが明らかになりました。

また特定の地域において、多くの携帯電話あてに一斉に災害情報

を配信する「エリアメール」を導入し、災害時の的確な行動対応なども配信する予定です。

代表質疑では、東日本大震災を受け①被災地の復興支援について、②川崎市の備蓄内容の見直しについて、③放射性物質の検査体制の充実について対応を求めたところ、食糧・毛布など備蓄計画を見直すとともに、放射性物質の検査は南部1か所で行なわれていましたが、北部でも実施するとの回答を得ました。

▶ 救急医療体制の充実強化を!

救急隊が到着してから患者を医療機関へ搬送するまでの現場滞在時間が、政令市でワーストワンであることから再度取り上げ、救急医療体制の充実強化を強く求めました。

健康福祉局長は「重症患者に対し24時間365日受け入れが可能な初期救急型拠点病院の整備に取り組み、周産期救急医療については、日本医科大学武蔵小杉病院におけるNICU(新生児集中治療室)など9

床の増床を支援する。中部小児急病センターについて検討していく。また高齢者の重症患者の受け入れが滞ることから、救急病院から長期入院患者が円滑に転院できるよう市内の療養病床数の確保に取り組む。川崎社会保険病院の療養病床は昨年50床の整備を行ったが、同病院の将来のあり方が未だに不明確なことから医師、看護師の確保に苦慮しており、入院患者は半数にも満たない状況」と答えました。



©NEW KOMETO

公明党川崎市議団は国会議員を通し、社会保険病院等の経営主体の確立を訴えています。

地デジ化をスムーズに、区役所に臨時相談窓口開設！ 非課税世帯へもチューナー支援決定

本年7月11日からテレビジョン放送がアナログ方式からデジタル放送に切り替わります。

国では小規模や老朽化した集合住宅への対策として、助成金によるアンテナ工事などの支援、未対応集合住宅のオーナーへの直接訪問などの対応を行っています。また、高齢者世帯に対しては、新たに臨

時相談窓口の区役所への設置、地域の電器店やケーブルテレビ事業者などで構成する地デジサポーターによる戸別訪問などが実施されています。

生活保護世帯へは地デジチューナーの無償給付が行なわれ、市県民税非課税世帯についてもチューナー支援の対象となりました。



多摩川のバーベキュー広場、4月より有料化スタート！



二子橋バーベキュー広場

今年4月から二子橋周辺でのバーベキューの有料化（小学生以上一人500円）が本格的にスタートしました。

これまでごみや騒音・トイレなどの迷惑行為により、地域住民から多くの苦情が寄せられており、議会でもたびたび取り上げてきました。昨年9月の有料化社会実験では、ごみ処理費用、トイレの設置及びそ

の関連経費、更に警備員の人件費がカバーできるようになり、花火や音楽による騒音もほぼ解消できたことから、市が本格実施に踏み切ったものです。

また、急な増水に備える安全対策、バーベキュー以外の釣りや水遊びなどの利用者は無料とすることなども明らかになりました。

ひとと環境に優しい川崎駅東口に！

すべてのバスのりばへ、エレベーター・エスカレーターまたは地上横断で行けるようになり、高齢者や障害者にやさしい駅前に生まれ変わりました。また、タクシーのりば屋根へのソーラーパネル設置、

自然採光とLED照明、保水性舗装による省エネ・温暖化対策、光触媒加工による汚れのつかないガラスの採用など、環境先進都市・川崎を象徴するスポットにもなりました。



完成された川崎駅東口

お知らせ

3月からミックスペーパーの 分別収集が始まりました!!

「地球環境にやさしい持続可能な循環型のまち」を目指し、ごみの減量とリサイクルを進めています。分別と再資源化で、ごみ焼却量を削減でき、温室効果ガス（気候変動の原因）も減らせます。そこで、再生可能資源としてミックスペーパーの分別収集を市内全域で行っていますので、ご協力をお願いします。

毎月の第2・第4土曜日 区役所一部窓口オープン

平日が仕事等で区役所に行っても手続きができない方の為に、区役所では、第2・第4土曜日の午前中（8時30分～12時30分）に一部窓口を開設しています。窓口では、住民異動届（転入届、転出届など）や印鑑登録、子ども手当の申請・小・中学校の入学、転校の手続き、小児（乳幼児）医療証の発行などが行なえます。

市の被災者 上下水道料金が減免に!!

東日本大震災により居住することが困難になった方で川崎市内に避難し公営住宅等に居住されている方及び被災された方が同居されている世帯を対象に、5月20日より水道料金及び下水道使用料の減免を行い、支援します。減免・申請手続等のお問い合わせは、川崎市上下水道局 サービス推進課 ☎044-200-3097